

放射性廃棄物処理・処分 スケジュール

分野名	括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定												備考	
			2月	3月					4月			5月	6月			
			24	3	10	17	24	31	7	14	21	上	中	下	末	
2. 保管適正化の推進	1. 発生量低減対策の推進	持込抑制策の検討	(実績) ・足場材貸出による再利用	ガレキ減容・運搬・保管												
		持込抑制策の検討	(予定) ・足場材貸出による再利用	足場材貸出による再利用												・2017年3月27日：足場材貸出運用開始
	固体廃棄物貯蔵庫の設置	固体廃棄物貯蔵庫の設置	(実績) ・運用中	運用中												・2015年7月17日：実施計画変更認可申請認可
		固体廃棄物貯蔵庫の設置	(予定)	運用中												・2018年1月：竣工 ・2018年2月：運用開始
	覆土式一時保管施設 3,4槽の設置	覆土式一時保管施設 3,4槽の設置	(実績) ・設置工事(3槽) ・設置工事(4槽)	設置工事												・2014年8月12日：安全協定に基づく事前了解
		覆土式一時保管施設 3,4槽の設置	(予定) ・設置工事(3槽) ・設置工事(4槽)	設置工事												・減容作業開始：2018年5月24日 瓦礫運搬：2018年5月～8月3日 設置工事：2018年8月4日～ 2019年3月29日
	一時保管エリアの追設/拡張	一時保管エリアの追設/拡張	(実績)													・2017年6月14日：使用前検査(エリアG12槽分) ・2017年8月9日：使用前検査(エリアG22槽分)
	雑固体廃棄物焼却設備	雑固体廃棄物焼却設備	(実績) ・処理運転(A・B系)	【A系】 停止(定期点検)												定期点検(3ヶ月点検) 【A系】 ・2018年12月1日～2019年3月28日予定
雑固体廃棄物焼却設備		(予定) ・処理運転(A・B系)	【B系】 停止(定期点検)												【B系】 ・2018年12月1日～2019年3月22日	
増設雑固体廃棄物焼却設備	増設雑固体廃棄物焼却設備	(実績) ・鉄骨工事 ・鉄筋コンクリート、型枠工事 ・PC(プレキャストコンクリート)工事 ・建物付帯(給排水衛生・電気・消防)設備工事	上部躯体(鉄骨・鉄筋コンクリート・PC)工事												建築工事 ・2020年度下期：竣工予定 ・2017年4月11日：実施計画変更認可申請(一部補正) ・2017年8月22日：実施計画変更認可申請(一部補正) ・2017年11月9日：実施計画変更認可申請(一部補正) ・2018年3月29日：実施計画変更認可申請(一部補正)	
		(予定) ・鉄骨工事 ・鉄筋コンクリート、型枠工事 ・PC(プレキャストコンクリート)工事 ・建物付帯(給排水衛生・電気・消防)設備工事 ・主要機器搬入、据付工事	建物付帯設備(給排水衛生・電気・消防)工事												・2018年4月19日：実施計画認可 ・2018年7月26,27日：第1回使用前検査→「良」判定 ・2018年11月12日：2工区エリア引渡建築一機工事 ・2019年1月29日(水,30水)：第2回使用前検査→「良」判定 詳細協議の上、次回を以下にて調整中。 第3回：2019年4月中旬 第4回：2019年5月下旬 第5回：2020年6月下旬	
			ストーカー・二次燃焼器・排ガス冷却器搬入・据付工事												機械工事 ・2019年2月7日：使用前検査実施→「良」判定。 (1号検査 焼却設備のうちロータリーキルン)	
除染装置(AREVA)スラッジ	除染装置(AREVA)スラッジ	(実績) ・スラッジ対処方法及び除染方法検討	スラッジ対処方法検討												・スラッジ除染方法検討完了 2018年6月27日	
		(予定) ・建屋内除染 ・除染装置系統フラッシングおよび造粒固化体貯槽(D)除塩	除染装置製作												・建屋内除染 除染装置製作：2018年9月18日～ 2019年3月26日	
			除染装置系統フラッシングおよび造粒固化体貯槽(D)除塩												・除染装置系統フラッシングおよび造粒固化体貯槽(D)除塩 ：2018年9月10日～2020年2月末	

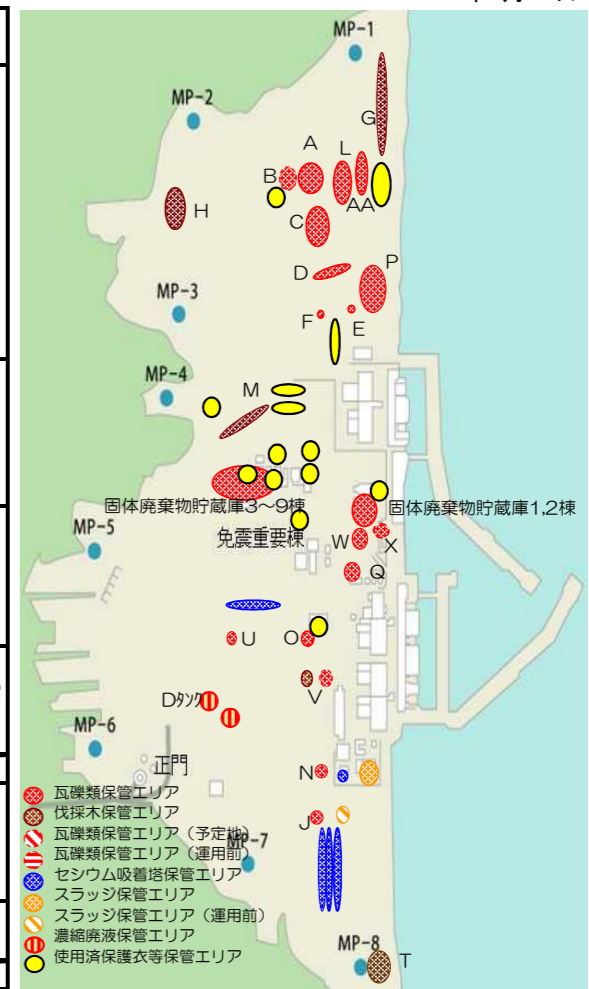
固体廃棄物の保管管理計画、処理・処分計画

瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2019.2.28 時点)

分類	保管場所	保管方法	エリア境界 空間線量率 (mSv/h)	保管量	前回報告比 ^{※1} (2019.2.28)	変動 ^{※2} 理由	エリア 占有率	保管量 ^{※3} /保管容量 (割合)	トピックス	
瓦礫類	屋外集積 (0.1mSv/h以下)	B	屋外集積	0.01	2,700 m ³	+200 m ³	①②	81%	193900 / 250700 (77%)	・フランジタンク解体片 2019年2月末時点でコンテナ928基保管。 エリアP1コンテナ数：670基 (2015年6月15日～) エリアAAコンテナ数：258基 (2018年3月15日～)
		C	屋外集積	0.01未満	62,100 m ³	-100 m ³	③	98%		
		F2	屋外集積	0.01未満	6,400 m ³	0 m ³	—	85%		
		J	屋外集積	0.01	5,200 m ³	+100 m ³	①②	65%		
		N	屋外集積	0.01未満	9,600 m ³	+200 m ³	①	96%		
		O	屋外集積	0.01未満	43,500 m ³	0 m ³	—	85%		
		P1	屋外集積	0.01未満	50,400 m ³	+700 m ³	①④⑤	79%		
		U	屋外集積	0.01未満	700 m ³	0 m ³	—	100%		
		V	屋外集積	0.01	4,700 m ³	+300 m ³	①⑥	79%		
AA	屋外集積	0.01未満	8,500 m ³	+400 m ³	①	23%				
シート養生 (0.1~1mSv/h)	D	シート養生	0.01未満	2,600 m ³	0 m ³	—	58%	36800 / 71000 (52%)	・エリアWでの車両解体(プレス等)完了。(2018年1月)	
	E1	シート養生	0.02	14,100 m ³	微増 m ³	—	88%			
	P2	シート養生	0.01	5,600 m ³	微増 m ³	—	62%			
	W	シート養生	0.03	6,500 m ³	-700 m ³	⑦	22%			
覆土式一時保管施設、 仮設保管設備、容器 (1~30mSv/h)	L	覆土式一時保管施設	0.01未満	16,000 m ³	0 m ³	—	100%	18900 / 31700 (60%)	・主な瓦礫類は、1~3号機工事等で発生した瓦礫類。 ・覆土式4槽の受入開始に伴い、保管容量(4,000m ³)増加。 (2018年5月)	
	A	仮設保管設備	0.14	1,000 m ³	0 m ³	—	14%			
	E2	容器 ^{※4}	0.01	400 m ³	0 m ³	—	24%			
	F1	容器	0.01未満	600 m ³	0 m ³	—	99%			
Q	容器	0.04	800 m ³	-200 m ³	⑦	14%				
固体廃棄物貯蔵庫	固体廃棄物貯蔵庫	容器 ^{※4}	0.01	14,400 m ³	+900 m ³	①⑧⑨	32%	14400 / 45600 (32%)	・主な瓦礫類は、1~3号機工事等で発生した瓦礫類。 ・固体廃棄物貯蔵庫9棟の運用開始に伴い、保管容量(33,600m ³)増加。 (2018年2月)	
合計(カレキ)				264,000 m ³	+1,900 m ³	—	66%			
伐採木	屋外集積 (幹・根・枝・葉)	G	屋外集積	0.01未満	25,300 m ³	微増 m ³	—	63%	96700 / 134000 (72%)	
		H	屋外集積	0.01未満	31,700 m ³	0 m ³	—	74%		
		M	屋外集積	0.01未満	39,600 m ³	0 m ³	—	88%		
		V	屋外集積	0.01	100 m ³	微増 m ³	—	2%		
	一時保管槽 (枝・葉)	G	伐採木一時保管槽	0.01未満	26,200 m ³	0 m ³	—	88%	37300 / 41600 (90%)	
T	伐採木一時保管槽	0.01未満	11,100 m ³	0 m ³	—	94%				
合計(伐採木)				134,000 m ³	微増 m ³	—	76%			
保護衣	屋外集積	容器	0.04	55,500 m ³	+1,300 m ³	⑩	78%	55500 / 71200 (78%)	・使用済保護衣等焼却量 5261t (2019年2月末累積) ・焼却灰(プラスチック含む)のドラム缶数 1294本 (2019年2月末累積)	
合計(使用済保護衣等)				55,500 m ³	+1,300 m ³	—	78%			

※1 100m³未満を端数処理しており、微増・微減とは100m³未満の増減を示す。
 ※2 主な変動理由：①タンク関連工事 ②構内一般廃棄物保管 ③砕石取り出しによる減容 ④構内所有者不明物品の受入 ⑤一時保管エリアVへの移動 ⑥一時保管エリアP1からの移動
 ⑦固体庫9棟へ瓦礫の移動 ⑧一時保管エリアWからの移動 ⑨一時保管エリアQからの移動 ⑩使用済保護衣等の受入

※3 端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。
 ※4 水処理二次廃棄物(小型フィルタ等)を含む。

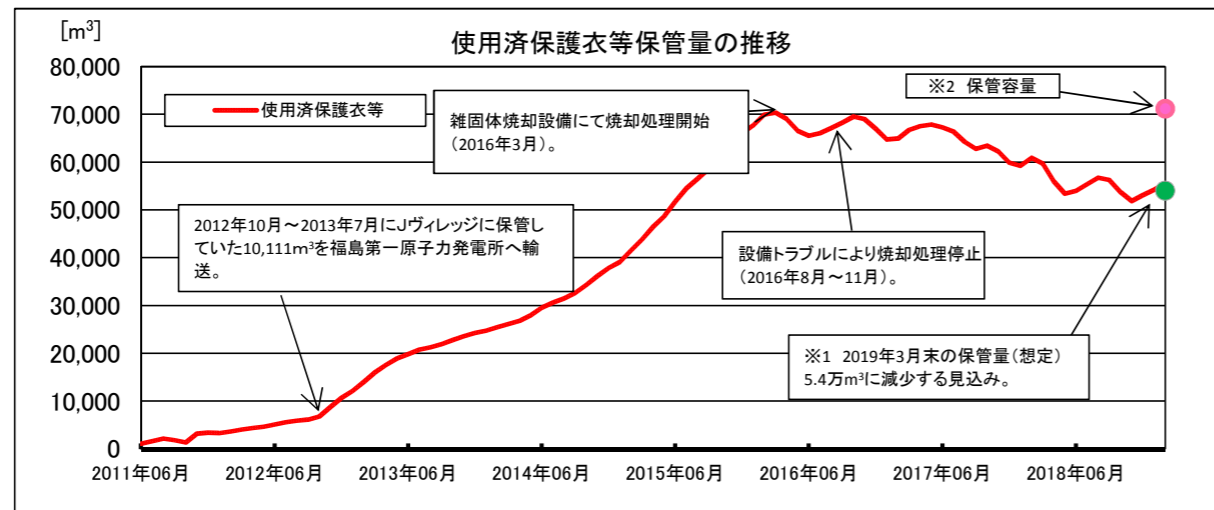
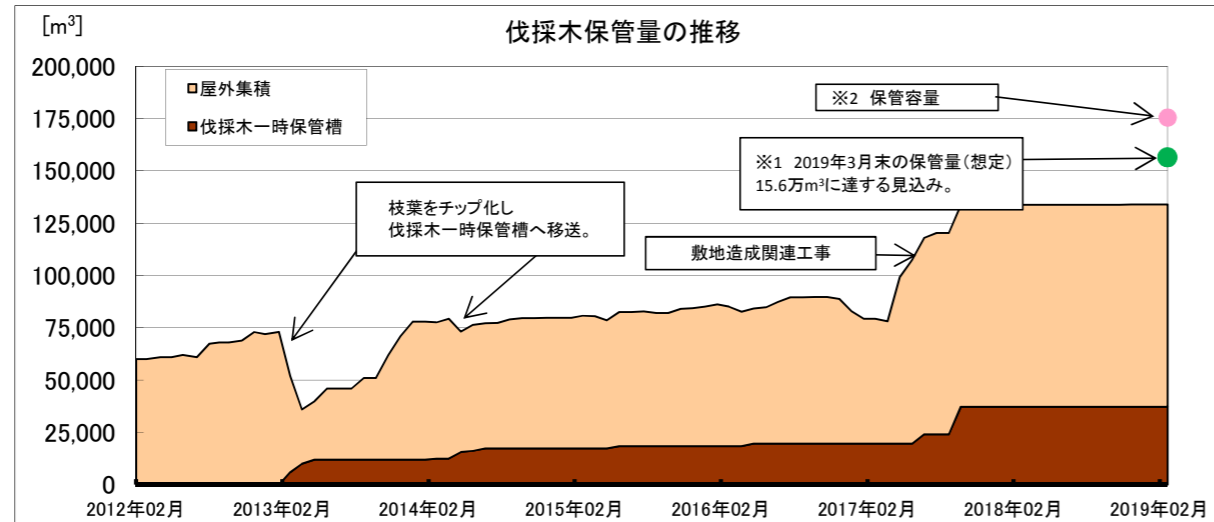
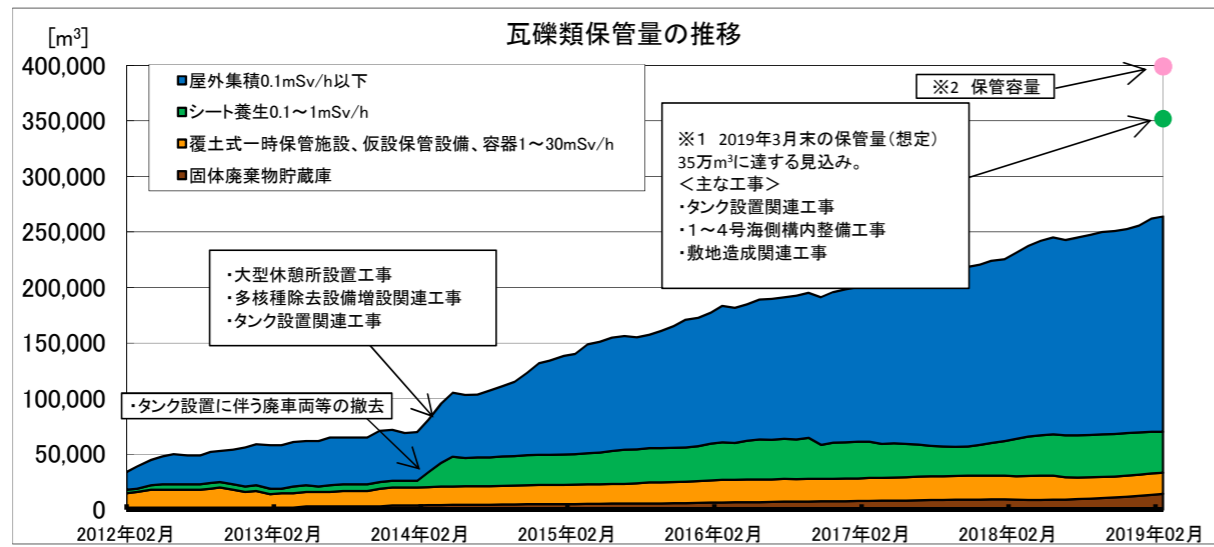


水処理二次廃棄物の管理状況(2019.3.7時点)

分類	保管場所	種類	保管量	前回報告比 (2019.2.28)	保管量/保管容量 (割合)	トピックス
水処理 二次 廃棄物	使用済吸着塔 保管施設	セシウム吸着装置使用済ベッセル	771 本	0 本	4300 / 6372 (67%)	・吸着塔一時保管施設の増容量が認可(2015年12月14日) ・使用前検査完了(2017年5月26日)に伴う保管容量増(第四施設架台129塔分)
		第二セシウム吸着装置使用済ベッセル	210 本	0 本		
		多核種除去設備等保管容器	1,600 ^{※1} 基	+6 基		
		高性能多核種除去設備使用済ベッセル	74 本	0 本		
		多核種除去設備処理カラム	11 塔	0 塔		
モバイル式処理装置等使用済ベッセル及びフィルタ類	204 本	0 本				
廃スラッジ 貯蔵施設	廃スラッジ	597 m ³	0 m ³	597 / 700 (85%)	・除染装置の運転計画は無く、新たに廃棄物が増える見込みは無い。 ・準備が整い次第、除染装置の廃止について実施計画の変更申請を行う。	
濃縮廃液タンク	濃縮廃液	9,330 m ³	0 m ³	9330 / 10300 (91%)	・タンク水位の変動は、計器精度±1%の誤差範囲内。(現場パトロール異常なし) ・水位計0%以上の保管量：9230 [m] タンク底部～水位計の保管量(DS)：約100[m]	

※1：データ集計の間違い修正により、基数を訂正。【正】1,600基 【誤】1,583基(2020.3.4)
 ※2：データ集計の間違い修正により、基数を訂正。【正】1,430基 【誤】1,447基(2020.3.4)

瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2019.2.28 時点)



※1 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管量(想定)は、実施計画(2018年3月26日認可)の予測値を示す。
※2 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管容量は、運用上の上限を示す。

水処理二次廃棄物の管理状況(2019.3.7時点)

